

# SAIDAIJI JC REPORT

恵

「1年を振り返って」

第四八代理事長花島 功一

本年度(社)西大寺青年会議所第48代理事長として、スロガンに「恵」サブタイトル「心たい心で」を掲げ、1年間私なりに精一杯勤めさせて頂きました。

メンバー1人ひとりが受けてきた恵みを愛すべきまち西大寺に少しでも返していきたいそんな想いで数々JC運動を行ったつもりですが正直どこまで伝えられたか、ただ志をともしする仲間が2010年の(社)西大寺青年会議所創立50周年にむけて新しい結束力が芽生えつつあるのは、本年度の他口ム周年の出席率のたかさ等から実感することができました。

事業では新年度早々「第37

回少年はだか祭り」は極寒の中にもかかわらず、多くの名も子供たちに参加してもらいました。福男児が帰還する際のあの笑顔は私の脳裏に焼きついて忘れられない思い出の1ページとなりました。そして夏には「吉井川フェスタ

2008」が、体がとろけてしまいうまくない暑い中開催され、子ども達が吉井川で水遊びし、楽しむ姿も私の脳裏に焼きついて忘れられない思い出となりました。他にも本年度、行いましたすべての事業が私にとって大事な大事な宝物です。これも一重にメンバーの皆様のおかげです。ありがとうございます。最後にありますが、現役会員の皆様、特別会員の皆様、地域の皆様、行政の方々そして

て、(社)西大寺青年会議所

を支えて下さいましたすべての皆様方に心から御礼を申し上げます。また、今後とも尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。2008年度を振り返ってとさせて頂きます。1年間本当にありがとうございました。

1年を振り返って

直前理事長 岡田 康志

2008年度、40歳を迎えた私にとって現役ラストの1年を直前理事長として「クライフをエンジン」させていたことができました。

タイトルは「1年を振り返

つて」となっておりますが、「このライフを振り返ってみますと、'95年の7月に入会させていただき、昨年理事長としての1年を務め終えるまで、精一杯この運動に邁進させていただくことが出来たと思っております。今年は、責務から解放されるのんびりした1年だったように思います。

私のこの生活は楽しい事ばかりではなく、辛い思いや理不尽な思いをすること多々あり入会直後から4～5年位は、「いつ辞めようか」と考えることも少なくありませんでした。そんな私の気持ちを察したある先輩から言われたのが、「苦しい時は、こので言う『修練』だと思つようにしなさい。これを聞いてからは、そう思うことによつて、随分気持ち楽になった

ように思います。

今では、この『修練』があるからこそ固い友情が生まれると思っております。

最後に、(社)西大寺青年会議所を無事卒業できることに対し、私を支えてくださった全ての方に感謝しております。本当にありがとうございました。

### 1年を振り返って

専務理事 石井 亮

2008年度、花島理事長のもと専務理事を1年間務めさせていただき、当LOMとブロック、他LOMとの窓口として、さらには総務委員会

の担当として貴重な経験をさせていただきました。この1年間の出会いはきっと自分にとって貴重な財産になると思います。

今年の貴重な経験を生かして来年は理事長として頑張っていきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

### この1年間を振り返って (6年間忘しがたく候)

副理事長 片岡 剛

最終年度である今年度は副理事長をやらせていただきました。

35歳で入会し、約6年間を西大寺青年会議所と共に過ごしました。

入会当初は会議所運動に疑問を持ち、殆ど休眠してしました。3年目に副委員長になり、その疑問も氷解していきました。

私が入会した動機は当時の自分を変えたいという気持ちからでした。

卒業を迎えた今、ずいぶん変わったとは言えませんが、ほんの少しは変わることができたと思っております。

今は後ろ髪を引かれる思いでこの西大寺青年会議所を去ろうとしています。

現役会員の皆さんにお願いが一つあります。“たのもしいひと”になつてください。自己に厳しく、相手には優しく。いたわり、それらを訓練してください。自と自己が確立し、“たのもしい人”になつていきます。

6年間、有難う御座いました。

## 1年を振り返って

### 副理事長 塩崎 鉄司

本年度地球ふるさと委員会担当の副理事長を努めさせていただきました。花島理事長のもと、初の副理事長と  
いつ大役をいただきました、決して充分とは言えませんが執行部と委員会を繋がるように1年間、頑張らせていただきました。

責任感が強く、努力家の小川大志委員長をはじめ、柔軟な発想でアイデアを出す小野田竜也副委員長、いつも冷静な尾田英俊君、新会員ながらも良い意見を活発に出す藤原辰徳君というやる気あふれるメンバーの地球ふるさと委員会でありました。1年間大変お疲れ様で

した。

年当初から担当の大事業であり、第37回少年はだか祭りにおいて地球ふるさと委員会メンバーは事務局を担当され、多くの子どもたちの参加もあり、準備のほう非常に大変であったと思いますが、小川委員長初めメンバーの熱い思いで盛大に行われ、大した事故もなく無事終了でき素晴らしい経験をされたと思います。

私自身、微力でありましたがこの委員会に携わらせていただきましたことに本当に感謝します。1年間ありがとうございました。

## 1年を振り返って

### 出向理事 松本和生

今年度、岡山ブロック協議会の郷土の歴史検証委員会委員長として、出向させていただきました。西大寺JCCから出させていただいているという思いで、精一杯やっています。

ブロックの委員長というもののやり方がみつけれず、またブロックとLOMでは会議の進め方、上程の仕方等違いが多くあり戸惑いました。しかし1番困ったのは、自身自身の性格でした。ぎりぎりまで物事を進めることができずにいる事が問題でした。そういうことで、理事長をはじめ、多くのメンバーに迷惑をかけた1年になりました。そ

れでも、皆様の協力を頂いて1つの事業をやり終えることができました。

なかなか、時間をとる事が大変ですが、ブロックに出向させていただき貴重な体験をさせていただきました。ぜひとも、多くのメンバーに経験していただきたいと思えます。

1年間、ありがとうございました。

## 1年間を振り返って

### 地球ふるさと委員会 委員長 小川 大志

本年度、地球ふるさと委員会 委員長を務めさせていただきました。

今年を振り返ってみると、やはり第③回少年はだか祭り」を思い出します。昨年のお月半ばから準備を進めましたが、少年はだか祭りの全体的な流れがなかなかイメージできず、実行委員会の方々、塩崎副理事長、委員会メンバーに助けられながら、なんとか無事に祭りを運営することができました。

実施目的に沿うように、そして「安全に！スムーズに！盛り上がる祭り！」という思いで委員会メンバー一同睡眠時間を削りながら一生懸命準備を行いました。そういう思いで行ったことから、当日の祭りが無事終了時の達成感は今でも忘れることができません。

今年度、初めて委員長という大役を務めさせていただ

きました。が、年初は経験の少ない自分が本当に委員会メンバーをまとめたり、事業をこなしたりしてゆけるのかという不安でいっぱいでありましたが、今は委員長をやらせていただき自分自身の今後の成長のためにも引き受けて良かったと感じています。この3信条である友情・奉仕・修練を今までで一番強く感じる事ができた一年でもありました。最後に、今年度地球ふるさと委員会の委員長をさせて頂く上で、様々な方にご支援とご協力を頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも社会に求められる(社)西大寺青年会議所であるための一員として頑張つてゆきますので今後ともよろしくお願ひ致します。

## 「1年をふり帰って」

親睦研修委員会  
委員長 坪井 綾広

本年度、当委員会の目的、役目が全う出来たかどうかは別として、失敗を恐れず全力を尽くし事業に取組めたのではないかと思います。思ひ起こせば新年祝賀会からはじまり、カンシャンのこの交流、新会員研修会や特別会員との懇親会など、様々な事業がございましたが、メンバー力を合わせて切り抜けて行きました。

委員長をさせて頂き2年目となりましたが、1年目は不安で何から手を付けて良いのかわからない事が多かったと記憶しております。しかし本年度は昨年の失敗を活

かし、勇気を持って前進出来たように思います。その中でも8月例会の会員拡大戦略会議は、昨年の自分であれば出来ていなかったかもしれないと感じています。決して素晴らしいものでは無かったかもしれませんが、失敗を覚悟の上で行なった難題への挑戦は「勇気」が多少なりとも身に付いた証しであると感じました。ただ、失敗は失敗。この失敗を成功の元となるようにしていかなければなりません。

工学者 畑村 洋太郎氏の失敗学に「一度経験した失敗がごく短期間のうちに忘れられ、再び同じ失敗を繰り返すことは珍しくない。失敗を生かすためには、失敗が起きるにいたった原因や経過などを正しく分析した上で知

識化して、誰もが使える知識として第三者に情報伝達することが重要なポイントである」と説かれています。この失敗を忘れないよう「勇気」を持って第三者に「知識」として伝えて行けるような人間であり続けたいと思います。

本年、ご指導、ご協力を頂きました理事長をはじめとするメンバーの皆様、そして親睦研修委員会メンバーの皆様にご感謝申し上げます。有難うございました。

合掌

### 一年を振り返って

地球市民委員会委員長

長田 智宏

本年度、地球市民委員長を務めさせて頂きました。

地球市民委員会では、会陽懇親会・フロック野球大会・例会・吉井川フェスタ 2008・ごぶくまつりなどの事業を担当させて頂きましたが、何分、経験が浅いのと、直前まで動かない委員長をいつも委員会メンバーが支えてくれ、そして後押ししてくれたおかげで、無事すべての事業を終える事が出来ました。

吉井川フェスタ 2008では、猛暑の中「OM」メンバー全員に助けて頂き、今までに無いほどの熱い気持ちと感謝の気持ちで一杯になった事を忘れません。この事業を通じて「3」信条の一つであります「友情」がとても大切なことだと学ぶことができました。反省点も多々有りますが今年一年間の経験を、来年再来年と生かされる様に頑

張って行きたいと思えます。本当に、一年間お世話になりました。ありがとうございました。

### 1年を振り返って

総務委員会委員長

三枝 克守

本年度は、総務委員会の委員長を務めさせて頂きました。

新理事ということもあり、全てにおいて初めての経験ばかりでしたが、メンバーの皆様のご協力をいただきまして、無事に1年間委員長を務められたことに感謝を申し上げます。

1月のスタート直後は、何をしたらよいのか分からず、

右往左往してありましたが、例会の運営、3JC合同例会の主管開催、執行部会議役員会の運営等に携わることにより、JCという組織、そして(社)西大寺青年会議所の活動内容を今まで以上に間近に見ることができ、非常に勉強になりました。

今年の最初に「学ぶ」ということを個人的に目標として掲げましたが、本当に今年一年で、JCに関する数多くのことを学ばせていただきました。

次年度以降も、新しい目標を常に自分の中に持ち、メンバーの方々と協力し、JC運動に邁進していきたいと思えます。

一年を振り返って

広報渉外委員会委員長

中山 稔之

本年度花島理事長の元、  
新理事として広報渉外委員  
会委員長を務めさせて頂き  
ました。

入会して日が浅い私が右  
も左も分からないまま委員  
長と言う大役を頂き一年間  
が経過しました。

京都會議の依頼事項に始ま  
り例会の運営、事業の写真  
撮影やブロック会員大会への  
参加、各地周年への参加協力  
等をこなしてきましたが、委  
員の方や副理事長の助言を  
頂きながら一つ一つを頑張っ  
て来ました。

まだまだ至らない点が

多々あったとは思いますが、  
今年度学んだことを次年度  
に活かして今後もJC運動に  
邁進していきたいと思いま  
す。

発行日 平成20年12月吉日

発行責任者 花島 功一

編集責任者 中山 稔之

発行所

社団法人 西大寺青年会議所

行事予定

1月9日 新年祝賀会

1月14日 1月例会

1月25日 京都會議